

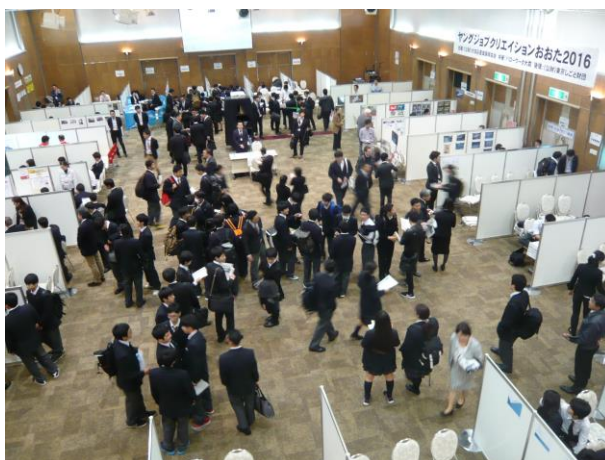
事業報告書

若者と中小企業のマッチング事業 ヤングジョブクリエイションおおた2016 開催報告書

公益財団法人大田区産業振興協会
地域型産業推進課
経営サポート担当

11月21日に開催されました「ヤングジョブクリエイションおおた2016」につきまして報告いたします。

事業名	ヤングジョブクリエイションおおた2016
開催日時	平成28年11月21日(月) 13:30~16:30
会場	PiO 4F コンベンションホール
開催目的	若手人材へ大田区中小企業の魅力を発信し、中長期的な視野での人材確保に繋げる
参加企業	区内中小企業29社* (製造・加工19社、商業・サービス10社) *前日に1社キャンセルがあったため
開催形式	来場者の入退出自由、企業の説明は1回10~15分のフリータイム制



【概要&経過】

超売り手市場と言われる中、本年度の参加企業募集は5月に行ったが、僅か2週間で満席となり、キャンセル待ち企業も7社を数えることとなった。区内企業の採用意欲の高さが伺える。

当イベントのコンセプトは昨年度刷新された通り「中長期的視野で大田区企業の魅力を若手人材にアピールする」であるが、今年は応募企業から「即戦力になる人材が欲しい」という声が少なからずあったことから、ハローワーク大森との協力関係を深め、一般求職者もできるだけ多く来ていただけるように働きかけた。また、冊子・招待状だけでなく、広く訴求するにはポスターの掲示が不可欠と考えて作成し、就職支援機関や学校へ配布した。

もう一点本年度の特徴として挙げるならば、全国の専門学校にネットワークを持つ業者にイベント周知と集客を委託し、「大田区企業で働く」ことに興味のある専門学校生を、全国規模で広く募ることとした。

事業報告書

【当日&考察】

昨年より授業の一環として来場している近隣の工業高校の生徒210名の他、仙台の専門学校等、遠方よりバスをしたてて来場した専門学校生が留学生を中心に計80名以上、その他一般求職者、職業訓練校の生徒等が増え、結果として前年度より多くの来場者を得ることができた。時間帯によっては会場のコンベンションホールが人で溢れるほど賑わった場面もあったが、個々のブースに目を移すと、訪問者で賑わうところとそうでないところの差が目についた点もあった。

今回来場者で目を引いたのは、専門学校で学ぶ留学生の真剣さである。タイ、ミャンマー、ベトナム等の東南アジア出身者がほとんどだが、母国の大学で高度な技術を学んだ後日本に留学した学生も多く、是非日本の企業で働きたいという意欲は他の来場者と一線を画していた。今回、企業紹介冊子に留学生受け入れの可否を記載したが、「可」の企業のブースはほぼ途切れることなく人が集まった。日本人の新卒学生に限れば「超」売手市場であることは間違いないが、外国人の受け入れに規制の多い日本の現状では、留学生に限れば「超」買い手市場である。国内少子化が進む以上、留学生の受け入れは不可欠となってくると思うが、ビザの問題等、依然として高いハードルを越えて質の高い人材を採用するにはどうすればいいか、また、大手志向に偏りがちな今どきの国内学生にいかにか中小企業の魅力をアピールするか。若手人材確保に関するこれらの課題は、区内企業のみならず多くの国内企業が対峙する喫緊の課題であろう。

今回ブース訪問した来場者が、実際の人材確保にどう結びついていくか、今後のフォローアップアンケートを通して継続して見守っていききたい。

以上

【参考1】来場者数 425名（前年度398名） 内訳 学生（就活対象外）241名
一般求職者（就活学生を含む）184名

【参考2】出展企業アンケート結果 *アンケート回収29社中

表1 開催形式について

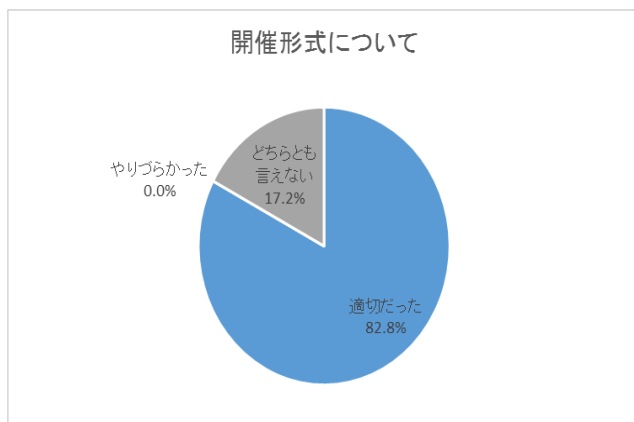
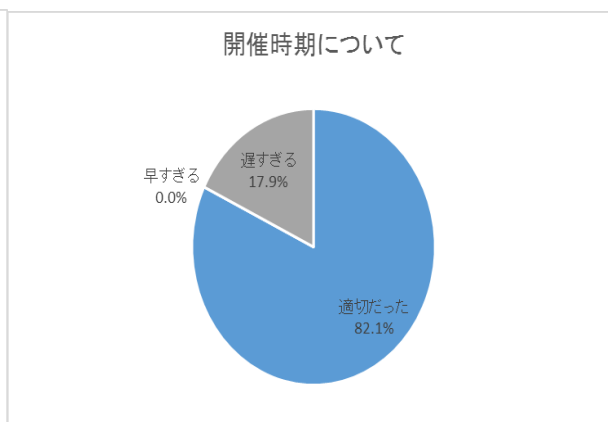


表2 開催時期について



事業報告書

表3 各ブースへの来場者

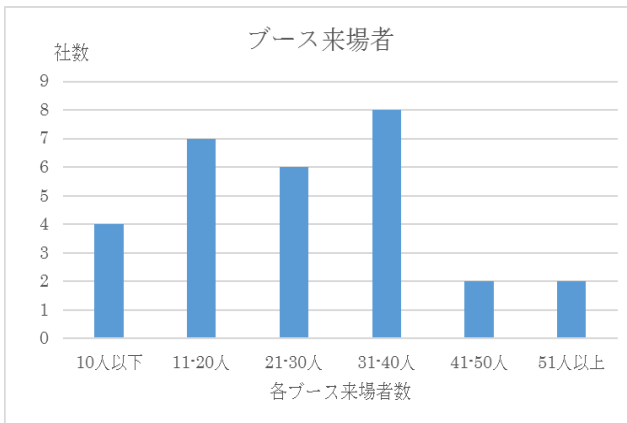


表4 参加企業の求人方法

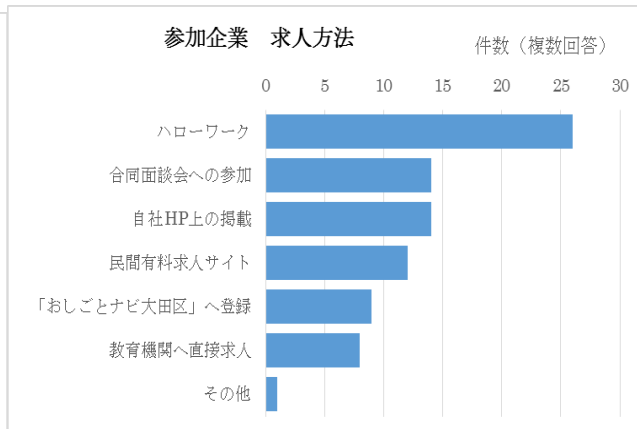
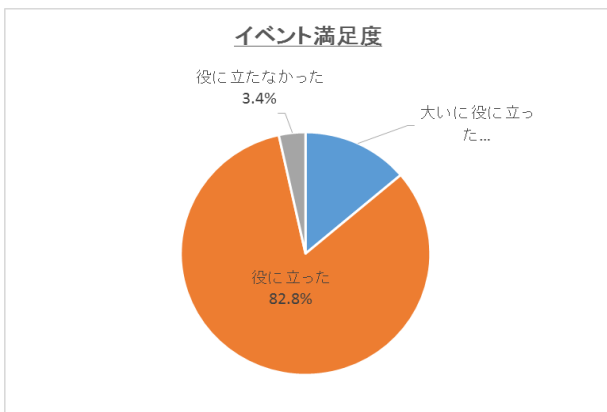


表5 イベント満足度



【参考3】一般求職者（就活中の学生を含む）アンケート

表1 求職者職業別内訳

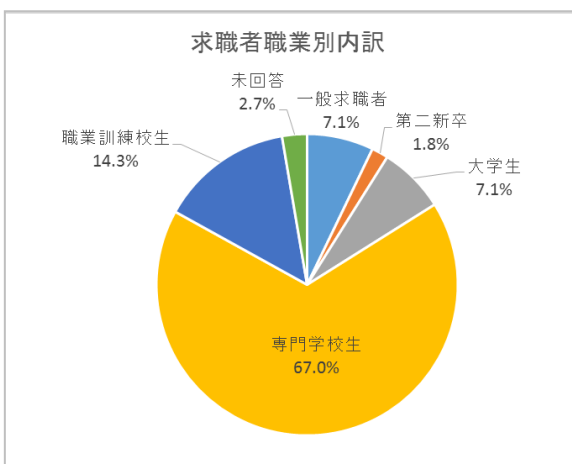
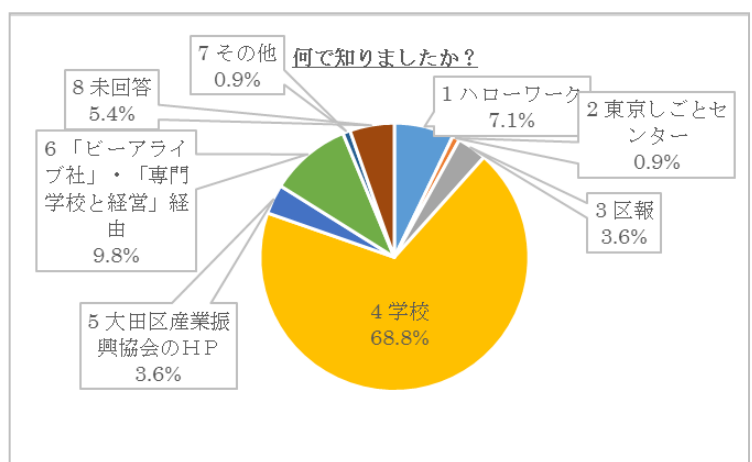


表2 来場のきっかけ



事業報告書

表3 就職で重要視する点

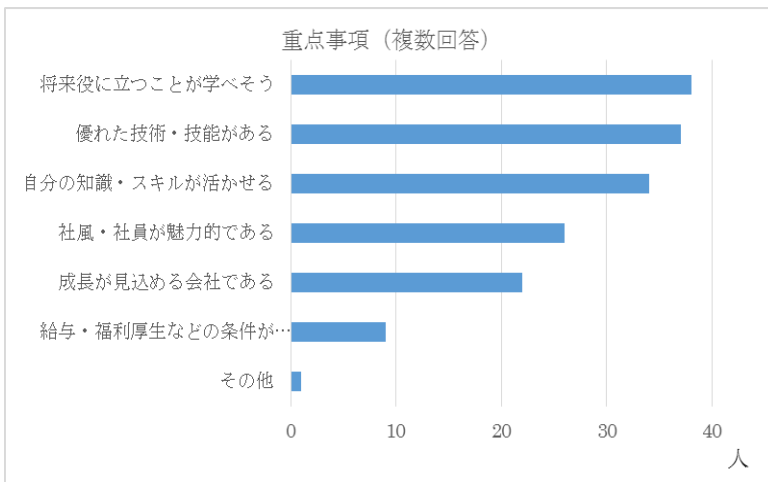
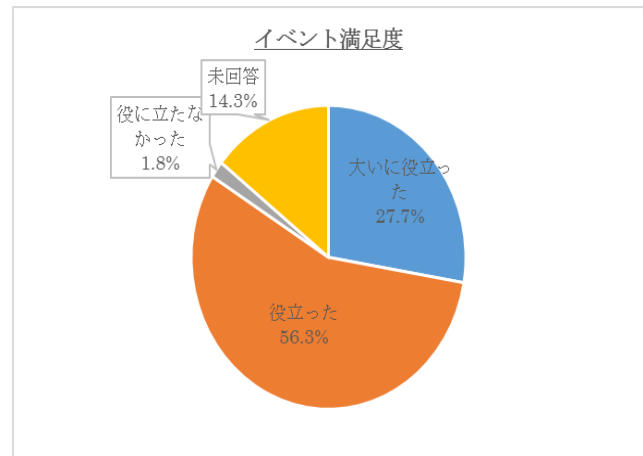


表4 イベント満足度



【参考4】学生（高校生・就活中でない大学生）

表1 進路相談相手は？

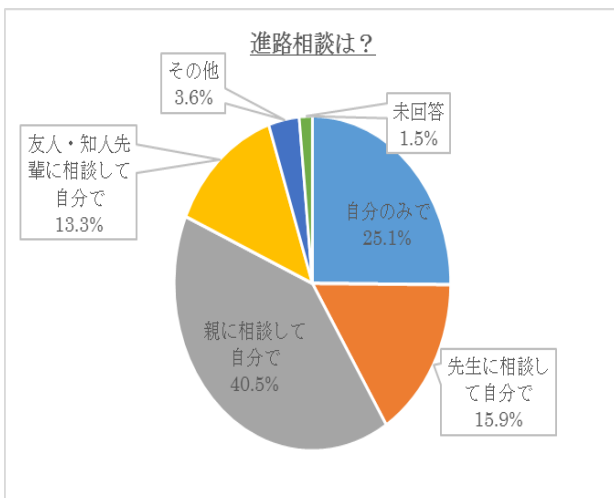


表2 就職先するなら重視する点

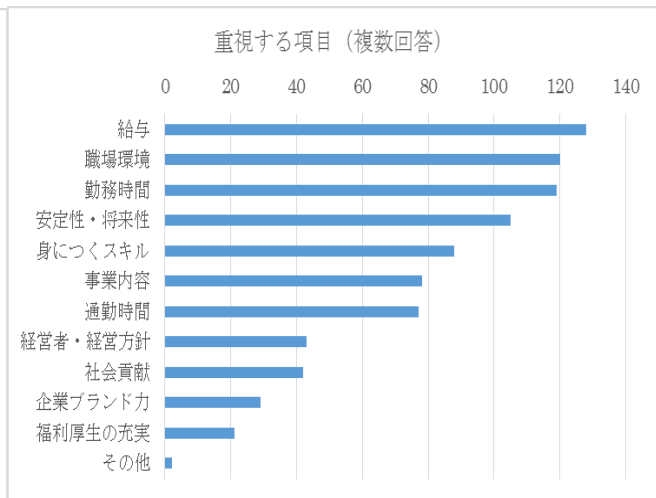


表3 イベント満足度

